



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月9日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8127 URL <http://www.yamatointr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 I R 経営企画室長 (氏名) 川島 祐二 TEL 03-5493-5629
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	7,408	△14.9	△66	—	82	△31.2	51	△24.3
2020年8月期第2四半期	8,702	△2.8	75	△85.7	119	△79.1	68	△81.3

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 243百万円 (119.2%) 2020年8月期第2四半期 111百万円 (△68.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	2.51	—
2020年8月期第2四半期	3.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期第2四半期	22,393	15,920	71.1	774.80
2020年8月期	20,917	15,799	75.5	768.93

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 15,920百万円 2020年8月期 15,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2021年8月期（予想）については、2021年3月19日に「配当政策の基本方針の変更に関するお知らせ」を公表するとともに、同日に「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	0.3	△190	—	90	—	50	—	2.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2021年8月期通期の連結業績予想については、2021年3月19日に「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	21,302,936株	2020年8月期	21,302,936株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	755,556株	2020年8月期	755,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	20,547,404株	2020年8月期2Q	20,548,044株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により経済活動が制限されたことで企業業績が悪化し、景気は大きく後退しました。新型コロナウイルス感染症の収束時期が依然として見通せない中で、欧州等の一部地域では感染の再拡大も深刻化しており、先行き不透明な状況で推移しました。

一方、当アパレル・ファッション業界におきましては、消費増税による根強い節約志向に加え、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う 2 度目の緊急事態宣言発出等により、人々の外出自粛やそれによる商業施設の集客減少等の影響が長期化しており、厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは、現コロナ禍を切り抜け継続的に利益を残せる企業へ向けた事業構造の転換を図り「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、3 年後のあるべき姿を目指し、中期ビジョン「Yamato2023」を始動しております。大きな転換期を迎えた人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でもお客様に求められ続ける真のブランド創りを目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は、1963年の発売以来、半世紀以上にわたり愛され続ける当社のオリジナルブランドです。ライフスタイルテーマ「クロコダイルTrad2020」のもと、改めて原点である顧客起点に立ち返り、ブランドコンセプトに基づいた既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築し、また潜在顧客が興味を持ち共感できる新しいスタイルを提案してまいります。更に商品・店舗・コミュニケーション等すべてにおいて一貫性を保ち提供することで、お客様のブランドに対する認知・認識を深め顧客を獲得し、事業の持続的な成長を目指してまいります。

新規事業である「CITERA (シテラ)」は、“アクティブ・トランスファー・ウェア”をテーマに、スタンダードなスタイルにテクノロジーを用いた素材や機能を持たせ、都市内 都市間の移動を「より快適」で「よりスマート」にするフリクションレスで利便性の高い商品開発に注力するとともに、新しいファンクションやサービスへの投資を積極的に行うことで、更なる売上拡大を目指しております。また、米国発アウトドアファッションブランド「Penfield (ペンフィールド)」と、日本国内における商標権を取得したハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt (ライトニングボルト)」は、ブランド認知度と価値向上に注力し、ライセンス事業の拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請け負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社は、在庫管理や入出荷業務の精度向上に努めるとともに、新たに導入した自動ソーターが本格稼働する等、積極的な投資を行うことで更なる業務の生産性向上を図っております。

以上の結果、当第 2 四半期連結累計期間における経営成績は、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、売上高が74億 8 百万円（前年同期比14.9%減）と減収になりました。利益面では、売上総利益率は44.1%（前年同期比2.0ポイント増）となり、販売費及び一般管理費については33億 3 千 1 百万円（前年同期比7.2%減）、営業損失は 6 千 6 百万円（前年同期は営業利益 7 千 5 百万円）、経常利益は 8 千 2 百万円（前年同期比31.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 5 千 1 百万円（前年同期比24.3%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業72億 5 千 4 百万円（前年同期比15.1%減）、不動産賃貸事業 1 億 5 千 4 百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における流動資産の残高は105億 1 千万円となり、前連結会計年度末に比べ14億 1 千 4 百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金が53億 3 千 4 百万円から67億 8 千 8 百万円となり14億 5 千 4 百万円増加したこと等によるものであります。

当第 2 四半期連結会計期間末における固定資産の残高は118億 8 千 2 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 6 千万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が 7 千 2 百万円減少し、投資有価証券が 1 億 6 千 5 百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は223億 9 千 3 百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億 7 千 5 百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は54億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ14億6千9百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が13億8千4百万円増加し、支払手形及び買掛金が1億8百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は9億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千5百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金が1億7千1百万円減少し、繰延税金負債が6千7百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は64億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億5千4百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は159億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が7千1百万円減少し、その他有価証券評価差額金が1億9千7百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は71.1%（前連結会計年度末は75.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期通期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の収束時期及び需要の回復時期等の予測が困難であることから、2020年10月9日公表の「2020年8月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において、未定としておりましたが、入手可能な情報等を踏まえ、2021年3月19日に「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

また、当期の配当金については、2021年3月19日に「配当政策の基本方針の変更に関するお知らせ」を公表するとともに、同日に公表した「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、誠に遺憾ではございますが、2021年8月期第2四半期末（2021年2月28日）の配当を見送らせていただきます。

なお、2021年8月期 期末（2021年8月31日）の配当予想については、厳しい状況ではございますが、1株当たりの予定額を期末配当金5円にすることといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,334,347	5,788,533
受取手形及び売掛金	1,249,899	1,340,637
有価証券	999,998	999,998
商品及び製品	2,292,237	2,152,421
仕掛品	92	76
その他	220,571	230,298
貸倒引当金	△1,804	△1,892
流動資産合計	9,095,343	10,510,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,311,825	1,265,144
機械装置及び運搬具 (純額)	148,365	135,710
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産 (純額)	26,418	26,070
その他 (純額)	82,569	69,852
有形固定資産合計	6,748,248	6,675,846
無形固定資産		
投資その他の資産	25,626	22,585
投資有価証券	4,680,119	4,845,796
差入保証金	66,829	66,039
退職給付に係る資産	201,864	201,159
繰延税金資産	11,952	1,668
その他	115,377	97,567
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	5,048,472	5,184,559
固定資産合計	11,822,346	11,882,991
資産合計	20,917,690	22,393,065

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,729	371,358
電子記録債務	2,586,612	3,971,026
1年内返済予定の長期借入金	167,372	245,372
未払法人税等	1,657	45,790
賞与引当金	78,693	77,484
返品調整引当金	9,000	11,000
ポイント引当金	5,597	6,152
店舗閉鎖損失引当金	21,251	13,582
その他	660,432	738,578
流動負債合計	4,010,345	5,480,345
固定負債		
長期借入金	618,213	446,527
資産除去債務	33,669	33,707
繰延税金負債	209,000	276,532
その他	246,900	235,775
固定負債合計	1,107,783	992,542
負債合計	5,118,128	6,472,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	5,856,433	5,784,620
自己株式	△363,733	△363,769
株主資本合計	15,399,044	15,327,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380,498	578,476
繰延ヘッジ損益	△1,616	2,868
退職給付に係る調整累計額	21,634	11,636
その他の包括利益累計額合計	400,516	592,981
純資産合計	15,799,561	15,920,177
負債純資産合計	20,917,690	22,393,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 9 月 1 日 至 2020年 2 月 29 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 9 月 1 日 至 2021年 2 月 28 日)
売上高	8,702,066	7,408,764
売上原価	5,037,347	4,142,098
売上総利益	3,664,719	3,266,666
返品調整引当金戻入額	13,000	9,000
返品調整引当金繰入額	10,000	11,000
差引売上総利益	3,667,719	3,264,666
販売費及び一般管理費	3,592,010	3,331,619
営業利益又は営業損失 (△)	75,709	△66,953
営業外収益		
受取利息	8,872	15,938
受取配当金	20,547	19,741
為替差益	1,939	3,790
雇用調整助成金	—	99,522
その他	16,349	13,733
営業外収益合計	47,708	152,726
営業外費用		
支払利息	3,475	2,734
その他	262	719
営業外費用合計	3,737	3,454
経常利益	119,680	82,319
特別損失		
固定資産除却損	581	4,253
投資有価証券評価損	—	46
特別損失合計	581	4,300
税金等調整前四半期純利益	119,098	78,019
法人税、住民税及び事業税	29,179	12,257
法人税等調整額	21,891	14,289
法人税等合計	51,070	26,547
四半期純利益	68,027	51,471
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,027	51,471

(四半期連結包括利益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 9 月 1 日 至 2020年 2 月 29 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 9 月 1 日 至 2021年 2 月 28 日)
四半期純利益	68,027	51,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,283	197,978
繰延ヘッジ損益	8,713	4,484
退職給付に係る調整額	△8,738	△9,997
その他の包括利益合計	43,258	192,464
四半期包括利益	111,285	243,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,285	243,936
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	119,098	78,019
減価償却費	99,005	83,221
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	2,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	369	555
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△268	88
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△42,793	705
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,054	△1,209
受取利息及び受取配当金	△29,420	△35,680
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△7,668
支払利息	3,475	2,734
為替差損益 (△は益)	△174	△1,007
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	46
固定資産除却損	581	4,253
売上債権の増減額 (△は増加)	172,394	△90,738
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△121,286	139,832
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,788,942	1,276,042
その他の資産の増減額 (△は増加)	46,563	△43,343
その他の負債の増減額 (△は減少)	△17,876	105,406
その他	△12,453	△20,732
小計	1,998,104	1,492,526
利息及び配当金の受取額	25,334	31,647
利息の支払額	△3,203	△2,350
法人税等の支払額	△113,772	—
法人税等の還付額	—	51,686
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,906,463	1,573,509
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△283,951	△4,303
有形固定資産の除却による支出	△353	△20,159
無形固定資産の取得による支出	△3,479	△890
投資有価証券の取得による支出	△102,707	△2,348
投資有価証券の売却及び償還による収入	757	100,713
差入保証金の差入による支出	△147	△12
差入保証金の回収による収入	91	23,281
その他	—	5,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△389,791	101,454
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△139,686	△93,686
自己株式の取得による支出	△176	△35
配当金の支払額	△226,030	△123,284
その他	△1,767	△4,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317,660	△221,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	174	1,007
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,199,185	1,454,185
現金及び現金同等物の期首残高	7,525,593	5,334,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,724,778	6,788,531

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,544,374	157,692	8,702,066	—	8,702,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,544,374	157,692	8,702,066	—	8,702,066
セグメント利益	368,492	87,486	455,978	△380,269	75,709

(注) 1. セグメント利益の調整額△380,269千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,254,192	154,571	7,408,764	—	7,408,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,254,192	154,571	7,408,764	—	7,408,764
セグメント利益	238,809	81,993	320,803	△387,756	△66,953

(注) 1. セグメント利益の調整額△387,756千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。